



	<p>日本文化理解と国際教養養成 (総合学習)</p>	<p>① 日本文化理解行事実施【2回/年】          J1 自然体験、富士山学習、地域社会調べ・探訪          J2 寺社宿泊研修、企業探訪、地域・大都市探訪          J3 寺社・精神文化調べ、企業研修、地域・古都研修</p> <p>② 講演や交流会の実施・研究          J1 科学          J2 医療・企業          J3 医療・企業・郷土</p> <p>③ 英会話授業【週1回】とアウトプット実践          J1～J3</p> <p>④ 禅寺の活用</p> <p>⑤ 日本文化・国際教養講話/講演実施</p>	<p>① J1 4月御殿場宿泊研修、10月盲導犬の里富士ハーネス・富士山世界遺産センター          J2 4月可睡齋宿泊研修、10月JICA・豊洲市場・日本新聞博物館・江戸東京博物館・三菱みなとみらい技術館          J3 4月ふじのくに地球環境史ミュージアム          焼津市防災対策センター「しえーる」、10月関西修学旅行          発達段階に応じて興味や探求心の拡大と深化を図った。          郷土の枠を超え、探求心を成長させ、改めて郷土と自分自身について考察させようとした。</p> <p>② J1～J3 6月と12月に医療講話実施。          各学年の春秋の主要行事と合わせ概ねバランスし、多角的重層的に学びを積み重ねることができた。</p> <p>③ TT授業及びスピーチ指導(英検二次対策含む)によりアウトプット力の向上を計画的に推進した。リーディングの授業との相乗効果が出た。</p> <p>④ 4月にJ2可睡齋研修実施。学園スピリットの一端を実地研修した。動禅の精神とと学校生活を結び付ける指導が欠かせない。</p> <p>⑤ 9月にJ2対象オースタムキャンプ事前指導の一環として、海洋講演を実施した。国内外の観点から海洋立国の諸点について学んだ。</p>	<p>A 30.4%  <b>B 43.5%</b>          C 1.4%          D 24.6%</p>	<p>◇:提言 ▲:改善</p> <p>◇:J2について台風による見学地変更があったが、校外学習の様子からしっかりと成長していることがわかる。</p> <p>・年齢に応じた行事が盛り込まれ実施されている。</p> <p>・校外学習で勉強することは生徒にとって良い刺激となる。</p> <p>・継続的に努力していることがわかる。</p> <p>▲国際教養について十分ではない。</p> <p>◇リニアで問題になっている大井川右岸(県西部)左岸(島田・藤枝)の畑薙ダム→川口発電所→分水所→大井川水路橋→小水力発電所等の見学も良いと思う。</p>	<p>A 25%  <b>B 62.5%</b>          C 0%          D 12.5%</p>	<p>・教育現場で日本文化を理解することの大切さや国際人としての教養を身につけることの必要性が理解されていて安心する。</p> <p>・校外学習が多く取り組まれておりよいと思う。</p> <p>・学年ごとの体験が充実している。</p>
<p>II 徳育の充実</p>	<p>基本的生活習慣の確立</p>	<p>① 身だしなみと挨拶の指導          校風検査【1回/月】          校風委員による挨拶運動</p> <p>② TPOに合わせた所作・マナー・学習態度等を発達段階をふまえて指導検証する          打合せ、定例中学部会(週・月)等にて情報交換し一斉指導の手立てを共有する</p> <p>③ 私物貴重品管理・整理整頓・清掃指導の徹底</p> <p>④ 欠席・遅刻・早退の減少          基本的生活習慣の維持</p> <p>⑤ 基本的生活習慣近況について情報発信</p>	<p>① 4月の全体集会で生徒のロールモデルを示し、基本の理解を促した。今年度も継続。本校の諸ルールの意味と目的の理解をさらに促進したい。月例校風検査は男女別、別担当で今年度も実施。流れが出来てきた。</p> <p>② 前期の日常指導に若干バラつきが見られ、後期に修整を要した。是々非々の指導差が生じないように注意したい。</p> <p>③ 概ね良好な状況が維持できたが、私物を机に出しっぱなしにしたまま帰宅する者が少し増えた。体育の移動教室時の整理整頓に改善の余地がある。机上に教科書類を出しっぱなしのまま、更衣するなど。</p> <p>④ 後期に入り徐々に欠席が目立たなくなっていた。限定的だが指導遅刻は断続的に見られるので注意したい。</p> <p>⑤ 特に後期に入り、集会の頻度を増やし、近況の共有と反省を促した。</p>	<p>A 39.1%  <b>B 42.0%</b>          C 7.2%          D 11.6%</p>	<p>◇教室の日頃の使い方、清掃と両方指導していかなければならない。今一步の教室もあるので職員全体で意識してもらいたい。全体は崩れることなくよい。</p> <p>▲清掃指導については担当の目が届かないところで中学生が真面目にやっていない。中高全体で指導をしていきたい。</p> <p>▲指導遅刻者に関しては8時の時点でかなり見られる日もあった。継続して指導していく必要がある。</p> <p>・中学部職員全員でマナー・学習態度等について指導点を共有して取り組んでいる。</p> <p>▲挨拶が数年前に比べ全くできていない。明誠の1番の強みだからこそ中学が一番できている必要がある。</p> <p>・中学女子が挨拶をできるようになった。</p> <p>◇内進生は外進生にとって一番身近な手本となるよう指導していきたい。</p> <p>▲言動や日常の学習姿勢について悪い点もあり、決して油断してはならないと思います。</p>	<p>A 0%  <b>B 87.5%</b>          C 0%          D 12.5%</p>	<p>・徳育は充実されていると思います。</p> <p>◇内進生の誇りを培ってほしい。挨拶がもっとできるとよい。</p> <p>▲朝ぎりぎりの登校もあり、家庭でも余裕ある行動を努めさせたい。</p> <p>◇挨拶は内進生も手本になる様に指導を継続したい。</p> <p>◇掃除の仕方等について共通理解し、手本を示したい。</p> <p style="text-align: center;">◇◇◇</p>
	<p>特設道徳の充実と行動化</p>	<p>① 本校理念の浸透、一斉道徳講話実施【複数回/年】</p> <p>② ボランティアの実施</p> <p>③ 自律性と社会性を培う場を設定し実践力行動力向上を図る</p> <p>④ 交通マナーの指導と実践          交通安全教室実施          交通安全委員呼びかけ</p> <p>⑤ 道徳教科書ノートを年間計画で使用          学習の記録を振り返り、共有する</p> <p>⑥ 情報端末使用時の人権問題啓発指導          講演実施と集会等で啓発指導</p> <p>⑦ 「いじめ」皆無の指導 【調査3回/年】</p> <p>⑧ 成果や伸長について情報発信</p>	<p>① 4月全体道徳を校長講話の形で実施した。題目「中学生に期待すること」本校の生徒として期待される意志の力の涵養や他者とのかかわり方・学ぶべき点・競い合うべき点などの諸点について学んだ。          一斉道徳の機会は減少したが、集会をコンスタントに行い啓発指導した。</p> <p>② 年間行事の調整の影響で恒例の清掃活動は未実施となった。募金活動等でささやかながら貢献し、協働の精神について考えた。</p> <p>③ 各集会や行事の運行を通して主体性と行動力の向上を図った。また、行事後の自己分析を欠かさず行い、以後の生活に繋がるようにした。</p> <p>④ 5月交通安全教室を実施し、レクチャーを受けた。上級生が主体的にロールモデルを示し、全体の意識高揚を図った。もう少し工夫があってもいい。</p> <p>⑤ ワークシートの活用が進み、考え議論する道徳が徐々に展開された。</p> <p>⑥ 7月NTTドコモ、12月LINEより講師を招き、ネットワークやSNSの利便性や危険性について、わかり易い講義を通して学んだ。</p> <p>⑦ トラブルの未然防止がタイムリーに行われ、問題の芽を摘む指導が行われた。また、招聘講師によるアサーショントレーニング、アンガーマネジメント、心理講話を受けたことにより、人間関係の理解力や対応力を向上させた。生徒の反応は毎回前向きで良好であった。</p> <p>⑧ 定例部会での情報共有や通信・懇談会・面談を通して、適宜情報発信が行われた。</p>	<p>A 26.1%  <b>B 40.1%</b>          C 4.3%          D 29.0%</p>	<p>・様々な道徳活動で生徒の内面が成長していると思う。良好な人間関係が築かれている(築く努力をしている)と思う。</p> <p>・SNSについては中学生と高校生の違いをふまえ、中学生により強い制限があることを機会あることに考えさせてきた。</p> <p>・メタ認知・アンガーマネジメントの講話を昨年度に引き続き実施。生徒が内容をよく覚えていてよい影響が出ている。</p> <p>▲キャリア教育の機会を増やしてほしい。</p> <p>◇善行を躊躇わず実践できる正直で強い生徒を育成していきたいと思う。</p>	<p>A 0%  <b>B 75%</b>          C 12.5%          D 12.5%</p>	<p>◇自転車のルール無視・一時停止・並列進行などについて継続的に指導してほしい。</p> <p>・ヘルメット着用は徹底されていると思う。</p> <p>◇道路での標識は守る。特に一旦停止は必ず守るよう指導して注意してほしい。</p> <p>◇携帯電話についての講演を継続的にこなしてほしい。</p>

	<p>個の尊重と主体性の醸成</p>	<p>① 情報交換で個の把握 【月次・週 定例会実施】</p> <p>② 生活帳の熟読とコメント【隔月提出率確認】</p> <p>③ 個別指導には、養護・カウンセラー・生徒課等チームの活用</p> <p>④ 中学生生徒理解研修会 【全職員で実施】</p> <p>⑤ KJQの実施と評価の活用</p> <p>⑥ 随時良い点や現れをフィードバック、全体で共有</p>	<p>① 定期的な情報交換により、生徒指導のレベルを確保した。年度後半に入り若手職員の経験値も向上した。</p> <p>② 熟読とコメント記入がよく維持されており、波及効果も大きい。提出率は概ね良いが、しばしば下がることも見受けられる。</p> <p>③ 必要に応じて外部組織の知見を参考にして、生徒指導に対応した。計画的定期的な活用が行われ、指導の精度が向上した。</p> <p>④ 定型フォームに行動のあらわれを記入し、情報の共有に努めた。</p> <p>⑤ 情報や指導方法について共有し、職員同士の連携を高めた。ガイダンスや会議により活用方法の職員の習熟度も向上した。担任による面談指導等も根気強く丁寧に行われた。</p> <p>⑥ 日常の職員間のコミュニケーションの風通しの良さが向上した。</p>	<p>A 26.1%</p> <p>B 44.9%</p> <p>C 0%</p> <p>D 29.0%</p>	<p>◇:提言 ▲:改善</p> <p>・ KJQは生徒理解に有効だった。</p> <p>・ 中学部は定例会議を行っており、風通しがよい。対応が早い。</p> <p>◇ 教科会と中学部の連絡をもっと密にしていきたい。</p> <p>・ 「生徒理解研修会」で生徒の様子と指導状況がよく伝わってきた。</p> <p>▲ 「生徒理解研修会」の資料から、生徒の成長点・良い点についてのコメントがなくなり、情報不足になった。長所も知りたいです。</p> <p>・ KJQの導入により生徒の良い点に目を向けた指導が少しずつできるようになってきた。スクールライフのコメント等に担当がよく取り組んでいる。</p> <p>・ 先生方が愛情豊かで、生徒たちは恵まれていると思います。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 87.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・ 今後も生徒を熱心に指導してほしい。</p> <p>・ 内進の生徒はのびのびとしていて担任の先生も密に接している。生徒は恵まれた環境にあると思う。</p>
<p>Ⅲ 健康な体の育成</p>	<p>団体行事の用意 (団体行動や行事運営の基本も学習)</p> <p>② 身心の持久力育成 【耐寒持久走会参加率92%以上】</p> <p>③ 体育大会の活用 【長縄跳び30回以上】 【行進評価80%以上】</p> <p>④ 武道奨励 時数の確保(前期・後期) ねらいの理解と浸透</p> <p>⑤ 部活動奨励 【参加率85%以上】</p> <p>⑥ ダンスデイ実施</p> <p>「保健だより」の活用</p>	<p>① スポーツデイ実施 【参加率95%以上、2回/年】</p> <p>② 身心の持久力育成 【耐寒持久走会参加率92%以上】</p> <p>③ 体育大会の活用 【長縄跳び30回以上】 【行進評価80%以上】</p> <p>④ 武道奨励 時数の確保(前期・後期) ねらいの理解と浸透</p> <p>⑤ 部活動奨励 【参加率85%以上】</p> <p>⑥ ダンスデイ実施</p> <p>① 啓発内容の理解促進と発展的考察を図る</p>	<p>① 前期において女子はミニ運動会を行い、学級ごとに競い合った。チームスピリットや下級生の挑戦心を涵養している。全体参加率：7月 96%、3月(コロナ中止)、基本的に良い。3月はサッカー・バスケのリーグ戦が中止となり大変残念であった。</p> <p>② 栃山川周回コース2周継続。延期することなく予定通り実施できた。今年度も概ねしっかりと完走できた。見学生徒のマナーも良かった。全体出走率：93% 欠席/見学：14名</p> <p>③ 長縄跳びは1クラスが目標達成。達成感の獲得や有用感の醸成を意識した取り組みにしたい。</p> <p>④ 男子は柔道、女子は剣道の指導を実施した。ねらいの理解と浸透について十分に手だてを考えていきたい。</p> <p>⑤ チームスピリットやスクールカラーを涵養する好機として参加している。加入率：J11: 73%, J12: 100%, J21: 95%, J22: 89%, J31: 87% J32: 86% 全体: 88%</p> <p>⑥ 生徒の動静の都合上12/21(土)より再変更し、12月18日平日実施したが、見学者数は例年同様100名前後で推移した。チーム数を調整し運行に配慮し、功を奏した。演技・表現の内容には課題が残る。ねらいを改めて確認したい。参加率97%</p> <p>① 定期的な配布と啓発に留まった。</p>	<p>A 36.2%</p> <p>B 43.5%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 18.8%</p>	<p>・ 部活動の参加が高く、実績を出している部もある。</p> <p>・ 部活動への所属は人間教育の上で中学生の頃にはとても重用。</p> <p>▲ 武道の時間をもっと増やすべき。浸透できていない。</p> <p>・ 部活動も高等部の生徒に交わりながら積極的に取り組んでいる。</p> <p>・ スポーツを通してコミュニケーションすることを学ぶことも大切。</p> <p>◇ ダンスデイの運営の仕方について再検証したらどうか。</p> <p>◇ 団体行事を通して健康な体をつくることによって、高等部の生活で様々な面で馬力が出せるようになる。進学や部活の実績にもつながる。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 87.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>◇ 社会人となってから武道を学ぶことはなかなかできない。学生時少しでも武道に関わってほしい。</p> <p>・ 女子生徒の武道の取り組みはよいと思う。</p> <p>◇ 中学の部活動所属を推進してほしい。</p> <p>・ スポーツを通して中学部の団結を感じる。子供たちも生き生きとしていた。</p> <p style="text-align: center;">◇◇◇</p>
<p>Ⅳ 豊かな生活の追及</p>	<p>特別活動や課外活動の準備と充実</p>	<p>① キャリア教育の一斉の年間的取り組み 【MD内に設定】</p> <p>② 青藍祭に、部・学年・学級で参加 実践力やボランティア精神を磨く場とする 展示物には価値観教育への成果を記す</p> <p>③ フィールドワーク 【2回/年】、芸術鑑賞 自身の思考力や発想力に資する体験 学習を行う。事前事後指導の充実。</p> <p>④ 行事や活動のまとめと発表・展示 ねらいと学びを振り返り、次の行事(節目)に向け 展望させる。</p> <p>⑤ 学習集団の向上(行事・授業等活用) プレゼンや議論を活かし、コミュニケーション 力や創意工夫する力、思考力を上げる。 混成集団をつくり、他者への理解を深め、 また、集団の力を自覚理解する。</p> <p>⑥ 各種団体の文芸コンテストに参加 想像力を発揮し、自他の理解を深め、お互いに 学び合う仲間であることを自覚する。</p> <p>⑦ 自分の長所・短所について行事ごとに振り返り、 自尊感情や自己有用感に繋がるヒントを得る。</p>	<p>① MDの年間計画を主要行事に前後してより明確にすることにより、年間的取り組みを効果的にやりたい。職業講話の活かし方について検討したい。</p> <p>② 模擬店・アトラクション(J3)、展示(J2・J1)の活動パターンを踏襲した。模擬店の運営に関しては一定の成果が出やすく、集団育成や社会性の向上に役立った。一方、J2・J1の活動に関して工夫が必要である。</p> <p>③ 4月・10月の主要行事中の実地研修・検証にあたる。発達段階に応じた主題に応じて実施時期と学年行事を設けている。事前指導のガイダンスや事後指導の振り返りにおいてよく留意し、行事間や学年間のつながりをさらに深く意識させ、物事を洞察したり展望させたりしていきたい。レポートの内容が伝聞に終始することが少なくないので、もう一歩突っ込んで考えさせていきたい。</p> <p>④ 発表・展示の際、知識としての学びのコピーに終始する例も少なくない。自分の学びをどう活用するのか、事前事後指導時によく考えさせることによって、応用力の伸長にも配慮していきたい。</p> <p>⑤ ワークシート活用の流れが整ってきた。ねらいと内容の面で学年ごとにバラバラにならないように系統化が進んだ。自己有用感・自尊感情や他者の理解力導き出す仕掛けを工夫し、本校の生徒として実践力を導き出す努力を継続していきたい。</p> <p>⑥ 参加するコンテストが定番化した。またコンスタントに入選している。他者の作品を鑑賞する機会を設け、集団育成にも繋げたい。</p> <p>⑦ レポートの際の自己分析が何よりも大事な点。「自分は～するようになった。」「他者の～を～考えるようになった。」などといった到達点を表現させるよう</p>	<p>A 30.4%</p> <p>B 44.9%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 23.2%</p>	<p>◇ 青藍祭については、生徒数の増加に伴い、どのような形で参加するか検討が必要。</p> <p>・ 行事を通してクラスの団結力が向上したり、人との関わり方について学び、成長していく。</p> <p>◇ 行事や集団行動のチャンスは兎にも角にもたいへんでも活かしたい。これらの活動から得た力(見えない力も含む)が、後々大きなエンジンになる。</p>	<p>A 12.5%</p> <p>B 75%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・ 青藍祭の充実には生徒、保護者、卒業生、地域に対して良い影響を与えていると思います。</p> <p>◇ 生徒数も増えたので高校生のおまけの様な青藍祭でなく、1・2年生にも活躍の場を与えてほしい。</p> <p>・ 青藍祭の行動は年々頼もしく感じる。何よりみんなで協力する姿勢が子供自身に芽生えてきている事をうれしく思った。</p> <p>▲ 中学と高校の関わり方がうすいと思う。内進生・外進生も高校に行くとはっきりわかれている。もっとつながりをもってほしい。</p>

指導に注力していきたい。

V 家庭・地域との連携	対話の増加	<p>① 面談の奨励(希望面談も用意)【4回/年】</p> <p>② 保護者会等実施 【複数回で参加率100%】</p> <p>③ 行事関係文書配布【2週間以上前】 子供の現れの連絡(けが・病気含む)</p> <p>④ 内進高校生の情報も含め生徒の良い点の発信 中学部だよりの活用</p>	<p>① 4月新年度個別面談①、7月夏休み三者面談、11月個別面談②、6・11月オープンキャンパス中希望面談、11月～2月個別面談による進級指導等実施。</p> <p>② 6月地区別懇談会(交通安全対策・夏期の準備)、2月学級/学年懇談会(進級準備)。参加率概ね達成。有用な情報を共有する機会となった。</p> <p>③ 各行事2週間以上前に通知を配布。気になる事柄については教員間で対策を予め検討し、保護者と適時コミュニケーションをとるように努めた。</p> <p>④ 7月と3月(コロナ中止)に全学年対象に進路講演会実施。進学の基本や現状について丁寧にわかり易く説明してもらい、目的の確認と意識高揚に役立てた。</p>	<p>A 33.3%</p> <p>B 30.4%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 34.8%</p>	<p>◇:提言 ▲:改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの機会は十分に確保されていると思う。</li> <li>・保護者とのやりとりは密であり、文書の配布も多くしているのが良いと思う。</li> <li>◇ある意味生徒は保護者の分身であり、また保護者は自分の子供に対して愛情以上のものをもっていることもよくある。親子とのコミュニケーションの際十分に意識していくべきだと思う。</li> </ul>	<p>A 12.5%</p> <p>B 62.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 25%</p>	<p>◇生徒の増加もあるが、特に保護者としてはコミュニケーションに関して期待したい。</p> <p>◇高校に繋げていく指導に期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や発表会の保護者の参加も多く、学校内の様子を理解していただける。</li> <li>・先生方とのコミュニケーションは図れていた。子供も十分とは言えないが学校での出来事を話してくれる。</li> </ul>
	広報活動の充実	<p>① 中学部だよりの発行 学年通信の発行【6回以上/年】</p> <p>② 子供安全連絡網の活用</p> <p>③ オープンキャンパスでのアンケート実施 【参加率2回で100%】</p> <p>④ 行事や発表会の開放</p>	<p>① 時節の学校活動の目標・計画と近況を紹介し学校理解に努めた。</p> <p>② 特に10月～12月の荒天対応・3月のコロナ対応等、行事予定変更に関する保護者への連絡手段として活用した。</p> <p>③ アンケート内の各意見に対し適切に対応した。 参加率はほぼ目標を達成。</p> <p>④ ダンスデイ、体験学習など開放。通知を二週間以上前に配布し、参加を適宜促した。一定以上の参加者を集めている。</p>	<p>A 33.3%</p> <p>B 33.3%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 31.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年通信は学年間で連絡をとり、計画的に発行できた。</li> <li>・行事をオープンにしていることにより、保護者も安心できる。</li> </ul>	<p>A 50%</p> <p>B 37.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパスの参加人数に募集が比例するとも言われる。益々の充実を期待している。</li> <li>・広報活動も十分に活用できた。子どもの学校での生活を観ることができ安心できる。</li> <li>・オープンキャンパスの目標達成はすばらしい。長く続くことを期待します。</li> </ul>
VI 生徒募集	渉外活動の充実	<p>① 説明会や講習会・オープンテスト等実施</p> <p>② 小学校や塾への渉外活動</p> <p>③ 各種行事の活用 (文化祭等)</p> <p>④ リーフレット作成</p>	<p>① ・説明会 6/15 (50)世帯, 7/6 (55), 8/4 (62), 9/14 (50), 10/12(中止) 11/16(82), 掛川・静岡実施せず, 前年比96%</p> <p>・講習会 9月(42)名1日のみ, 10月台風で中止, 前年比76%</p> <p>・オープン①8月(73)、②9月(71)、③11月(90) 前年比85%</p> <p>・入試 一次 94 :単74 併20 二次 4:単4 前年比<b>114%</b> 募集定員70名になり2日目、71名入学予定。男子単願が増加した。 リーフレット等の事前申し込みDMとEで積極勧誘。講習会・オープン・体験学習会等で減少傾向が見られたが、状況分析しつつ補強活動に注力し、後半・土壇場で盛り返しに成功した。</p> <p>・4・5年説明会 8月(25)、10月(20)、2月(40)</p> <p>・4・5年体験学習会 部活体験は実施せず 英語10月(32) 前年比74% 理科 8月(27)、2月(42) コロナ影響あり 前年比64%</p> <p>② 小学校訪問約90校 5月(学園祭前)・7月(夏面談前)・2月(学習会前)の3回を基本として訪問した。 志摩・小笠・静岡地区の有名/個人塾を訪問。学校案内・入試行事リーフレット・学園祭/体験学習案内・通学バス案内・通学費補助案内等配布。</p> <p>③ 学園祭や定期演奏会に合わせて学校訪問し、ポスター・リーフを配布しつつPRした。また、名簿を活用し同時期にDMも送付し相乗効果を狙った。 4・5年対象の10月英語/2月理科体験学習会については、ひと月前より訪問活動を開始し、またDMを送付。実施2週間前にはPRを概ね済ませていた。</p> <p>④ 入試行事年間予定リーフレットに加え、各種リーフ(講習会・オープンテスト・体験学習会・通学補助支給)をひと月以上前から送付配布した。 A3版体験学習会用自家製ポスターを校内外で掲示推進した。</p>	<p>A 39.1%</p> <p>B 33.3%</p> <p>C 2.9%</p> <p>D 24.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況の変化に応じた募集活動を行っている。</li> <li>・オープンテストがよい指標となっている。</li> <li>・オープンテスト受験者のうち入学試験を受験する生徒の割合が増えた。個々への対応がこれからも必要。</li> <li>・入学生の質が少しずつ上がってきている。</li> <li>▲突出した学力の生徒がいなくなった。</li> <li>▲難関大を目指すための中高一貫校であることを機会あるごとに必ず強調すべき。志の高い生徒が減ったのではないか。</li> <li>◇中高一貫の特色が形で分かるようにしていくことが生徒募集に必要。</li> <li>・十分な活動が行われている。</li> <li>◇定期演奏会の招待は数も多いのでパンフレットを配るだけでなく、VTRを流す。吹奏楽部以外の中学生に制服姿で何かのパフォーマンスをさせる等のことをしてもよいのでは。</li> <li>▲オープンテストの問題作成が大変。回数を減らすか外注を検討すべき。負担を減らすべきである。</li> <li>・説明会が多いので、生徒も多く入学してきている。</li> <li>・丁寧な説明会を何度も行っている。</li> </ul>	<p>A 50%</p> <p>B 37.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>◇オープンテストの問題作成負担について検討してみてもは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学受験を希望し、入学する生徒が増えてきている。</li> <li>・渉外活動に感謝します。</li> <li>◇丁寧な説明・実績・明誠のPR等継続してほしい。</li> <li>◇中高一貫の良さを見てもらえるように工夫してほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">◇◇◇</p>
VII 教育施設・設備の活用	快適な教育環境の実現	<p>① 教室内外整理整頓、施錠管理、電源管理の徹底、目的の理解 【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>② 駐輪場管理【朝巡回/日】</p> <p>③ 設備・備品の保全【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>④ 防災教育と訓練の実施【2回/年】</p>	<p>① 年度当初に集会にて、ロッカー・駐輪場等使い方を実演した。 概ね例年通り一定の成果を確保したが、ねらいの理解について若干注意を要する。放課後の過ごし方の指導について例年より手間取った。放課後の巡回は継続している。</p> <p>② 朝登校時副担任が輪番で巡回し、施錠確認・駐輪方法・整備状況などについて確認指導した。駐輪設備の施工により駐輪場の整頓が標準化された。ただし駐輪の仕方について注意と指導が必要である。</p> <p>③ HR・集会時啓発指導を行い、また、放課後巡回時適宜啓発注意とチェックを行った。教室内の壁の破損が若干発生した。</p> <p>④ 4月全校避難訓練実施。迅速にグラウンド整列点呼報告完了。 9月全校校長防災講話実施、教室内避難訓練及びワークシート学習に取り組んだ。</p>	<p>A 31.9%</p> <p>B 33.3%</p> <p>C 10.1%</p> <p>D 24.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカーの使い方の工夫を共通して取り組むことができた。</li> <li>・自転車通学時のヘルメット着用が定着してきた。</li> <li>◇教室内はいつもまずまず片付いていると思う。</li> <li>雑巾かけや流し等の様子は日によって違うと思う。</li> <li>◇津波や洪水を想定した訓練も必要だと思う。</li> <li>・指導が定着している。</li> </ul>	<p>A 0%</p> <p>B 75%</p> <p>C 12.5%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>◇コロナ対策についても検討をお願いしたい。</p> <p>◇今年度はコロナ対策で臨時休校となり、学習への不安も増すと思う。生徒にタブレット端末を配布し、オンライン学校が行える中高一貫校が県内にあることを知った。私立である明誠も新たな課題が見えていると思う。</p> <p>▲喫煙エリアの遵守徹底ではなく、校内禁煙を推進してほしい。 受動喫煙を防止するためにも、喫煙場所が校内にあるのは不安。生徒はよく見ている。教育者として喫煙を自粛してもらえないだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練だけは毎年必ず実施してほしい。</li> </ul>

